

# 北越電研（上海）を利用した商流実績例

2014年7月

株式会社 北越電研

（中国法律事務所確認済）

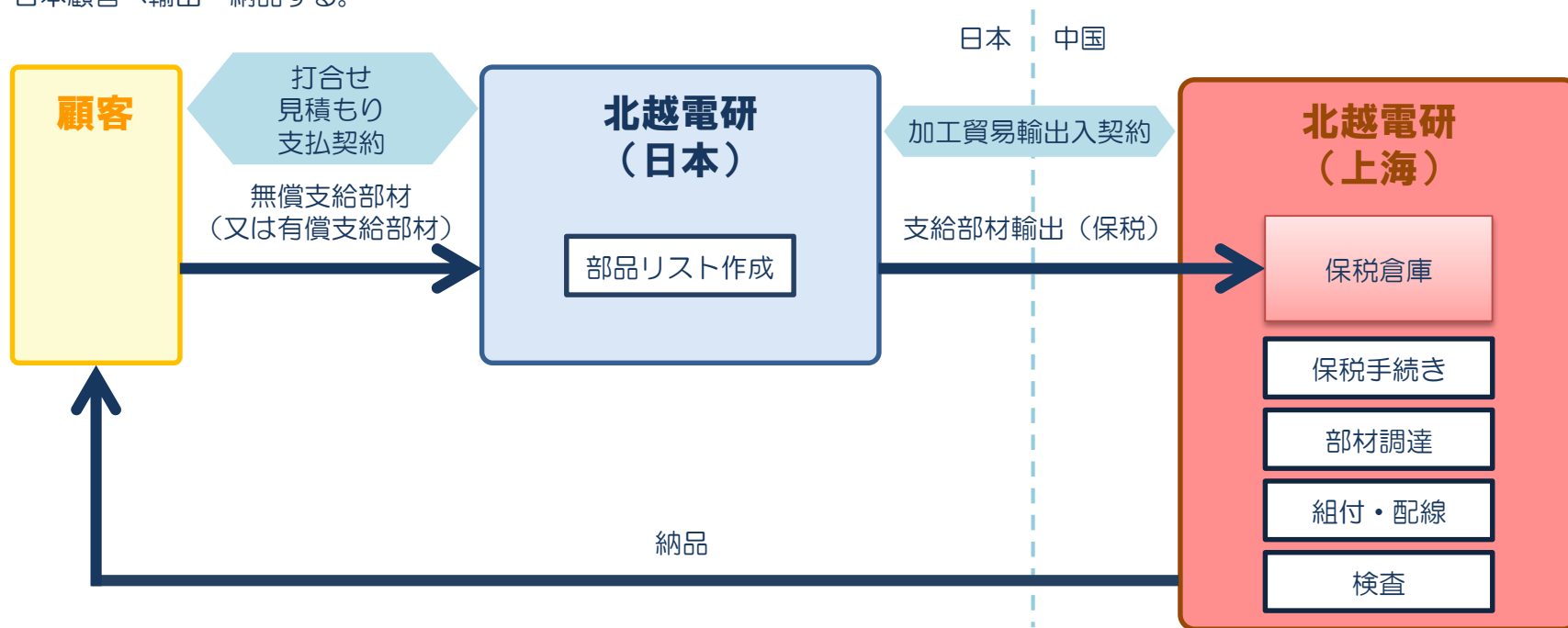
# 1 例1

日本国内向け制御盤【加工貿易（来料加工・進料加工）】

支給部材を保税で日本から中国に持ち込む。

北越電研（上海）にて板金製缶、配線材料等を調達し、組み付け配線と検査作業を行う。

日本顧客へ輸出・納品する。

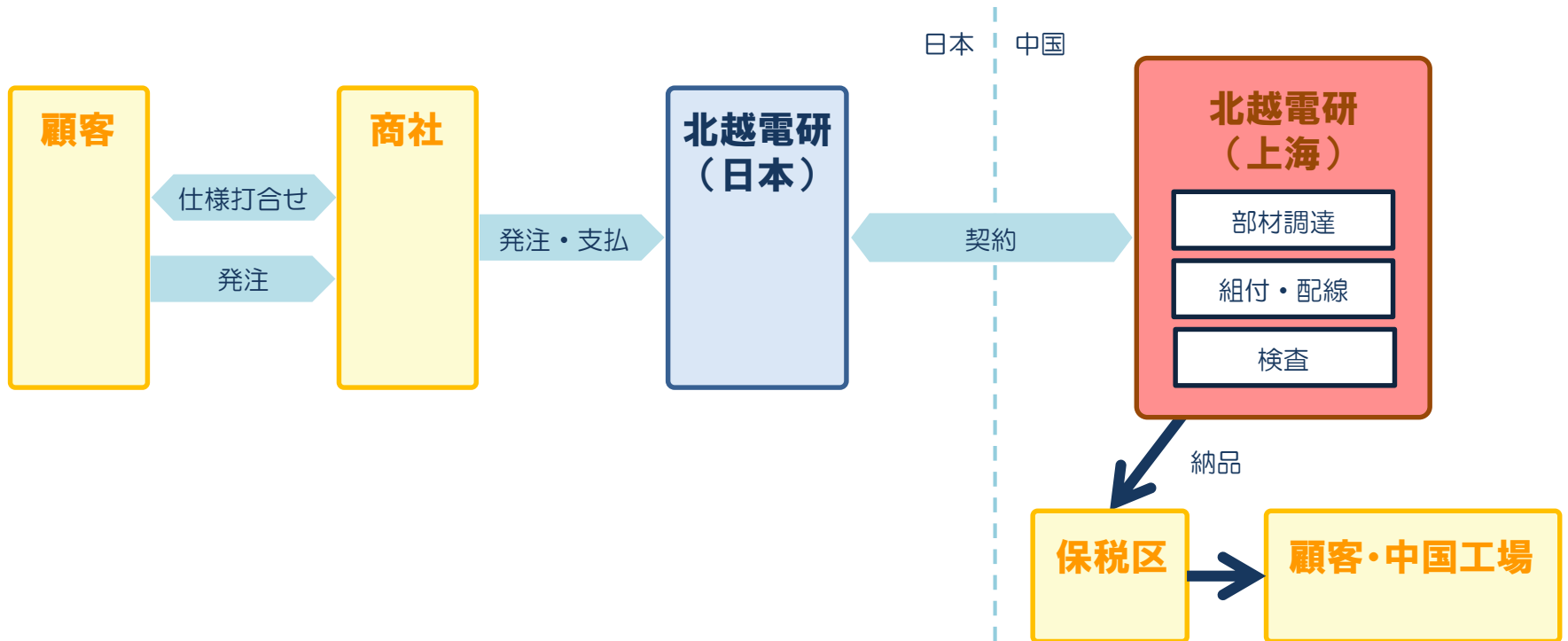


## ◆ 特徴

- 比較的ロット量がある案件にコストメリットがでる。
- 部材を中国で大量に調達するときは進料加工が望ましい。
- 部材を中国国外から大量に調達するときは来料加工が望ましい。

# 2 例2

日本の商社が日本国内で受注した顧客の中国工場機械設備の制御盤を北越電研（上海）で生産。中国内に納品する。

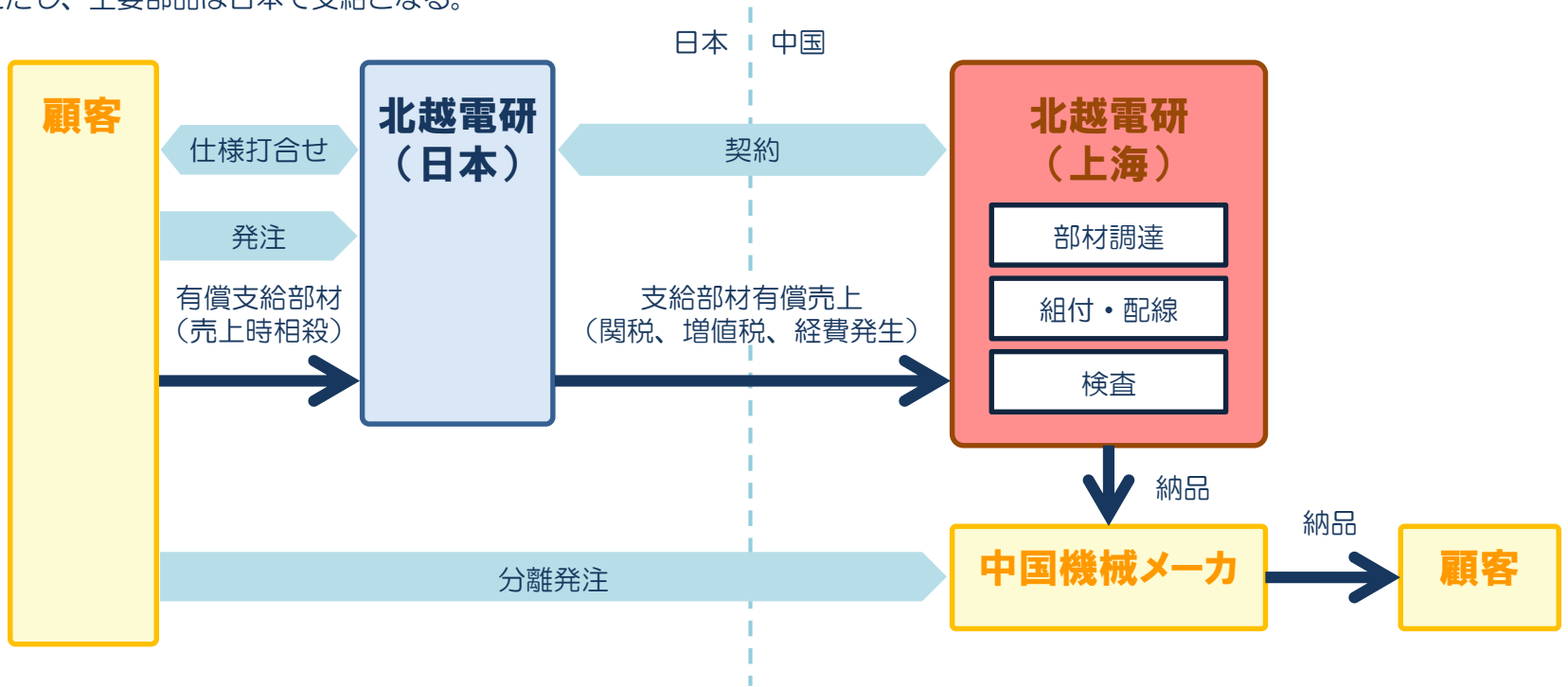


## ◆ 特徴

- すでに中国内工場を持つ顧客が、日本での技術打ち合わせ・設計等が必要な場合に有効。
- 顧客は打ち合わせを全て日本で行うことができ、支払いを日本国内で完結したい場合にも対応可能。

# 3 例3

日本の会社が中国機械メーカーに設備機械を発注。  
設備機械の制御盤を北越電研（上海）で生産し、機械メーカーに納品。  
ただし、主要部品は日本で支給となる。

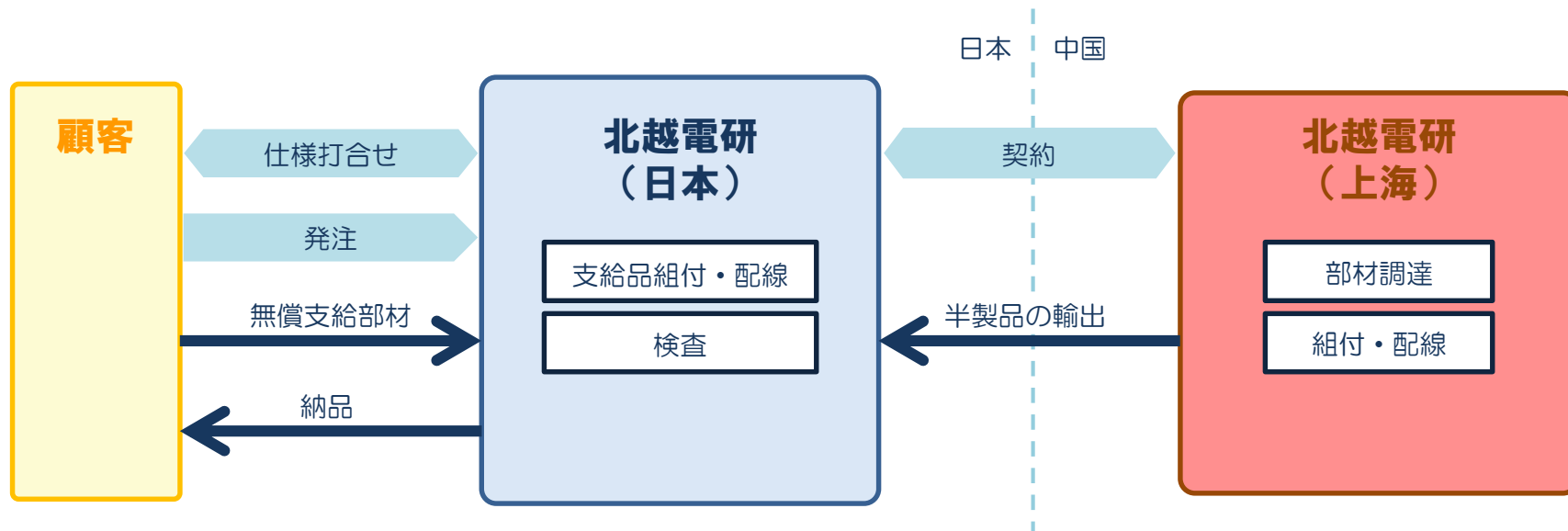


## ◆ 特徴

- 顧客が中国企業または自社中国で機械を生産する場合に、信頼性の高い制御盤の調達が可能。
- 顧客支給品の中国持ち込みを当社が全て行い、正規納税手続きを行うため煩わしさが無い。

# 4 例4

日本の会社で使用する制御盤を中国で生産しコストダウンする。  
ただし、支払いと品質管理は北越電研（日本）で行う。  
リスクがあり、持ち込み経費のかかる高額支給品は中国に持ち込まない。

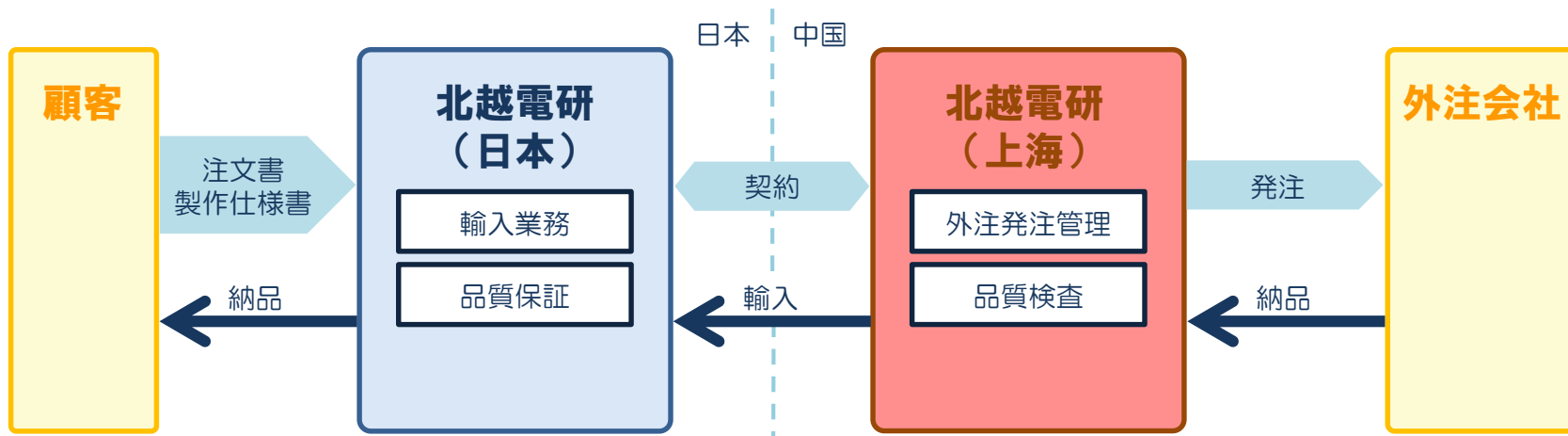


## ◆ 特徴

- 高額支給品は国内移動だけで済むためリスクがない。且つ適地調達・適地生産が可能。
- 特に量産品にコストメリットが大きい。（輸送コスト削減）

# 5 例5

中国製部材（板金製品、ハーネス製品）の調達代行  
北越電研（上海）が発注受け入れ検査を行い日本輸出。



## ◆ 特徴

- 輸送ロット等を考慮すれば、低コスト製品の入手が可能。
- 北越電研（上海）が製作過程から監視・管理する事により、品質確保が可能となる。
- 受け入れ検査、出荷梱包等を北越電研（上海）が行い、日本でのクレームが発生しない。



## 注意

この資料は社内実績に基づいた資料であり、この商流を当社が保障するものではありません。  
日々複雑化する商取引では法令の変化に注意し、関係機関に確認される事をお勧めします。